

のマグロだったら5%出るわけですからね。残渣が1匹にどれだけ出るかってことが分かるでしょう。これを全部市の焼却場に今持ち込んだとしたら、市の焼却場すごい負担でしょう。焼却場も傷みますよね。その辺りで、伊原議員が提言されたとか質問されたことと併せて、残渣の処理場のこともありますしね。この災害による場合は絶対埋立てかどうかということ、焼却かどうかということは、再度検討が必要だと思いますがいかがですか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 要は、この処分場関係をじゃあどこでもこれが使えるかということで、地域の皆様の了解を得ることがかなり難しいということは私も聞いております。やはり今議員おっしゃられるように、臭いもいたしますし、最終処分場になりますとその水をそのまま海に流さないように循環もさせなくちゃいけないというようなことで、かなりの費用もそこにはかかってくるというようなことで、なかなか難しい。そういうことで総合的に判断いたしますと、今の安神の最終処分場をリサイクルと申しますか、循環させる。要するに、また一旦掘り起こして燃やすことによってその耐用使用年数を延長できるということで、市のほうとしてはそのような手法でやっていきたいと考えているところであります。

○議長（初村 久藏君） 11番、小島徳重君。

○議員（11番 小島 徳重君） 県のガイドラインやあるいは市のいろんな段階の計画も十分まだよく総合的には煮詰まってないところがあるみたいだから、大いに研究していただいて、そして費用かからないように、そしていわゆる衛生上も負担かからない何か方策があると思うんです。これは地域によってということも国も言っていますよ。国の出している環境省の文章の中にもそういうことが出ていますから、大いに研究していただきたいということを最後に提言して終わりたいと思います。

以上です。

○議長（初村 久藏君） これで、小島徳重君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。2時5分から再開します。

午後1時51分休憩

午後2時05分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） 皆さん、こんにちは。3番議員、新政会、神宮保夫です。初の一般質問ということでかなり緊張しておりますので、失言等がありましたら少々はお許してください。

そして、この場をお借りしまして、自分を応援していただきました方々にお礼を申し上げます。

心に全然余裕がありませんので、早々、一般質問をさせていただきます。よろしく申し上げます。

ではまず、初めに、市長にお伺いします。

コロナが回復後の観光についてお伺いします。

コロナが回復したら、かなりの観光客が来るようになると考えられますが、日本人と韓国人とどれくらいの観光客を考えられているのでしょうか。

大型バスがどんどん来るようになると思いますので、今のトイレでは小さくて古いので、年に1ずつでもいいので整備をしてもらえないのでしょうか。

それと2つ目が、韓国の人々が来られていたときに、釣り場でのごみと船にいたずらもされていたと聞きます。また、飲食店等で、かなり苦情を聞きました。なので、これからは韓国の観光客にある程度の指導をしていただいて、対馬のルールを守っていただけるように指導をしてもらえないでしょうか。市長の見解をお願いします。

それと次に、教育長にお伺いします。

中学卒業後に3割の子供たちが対馬を離れると聞きましたが、止める手立ては何かされているのでしょうか。

対馬高校に公務員科をつくってみてはどうでしょうか。

それと、スポーツ推薦と一般推薦をどんどん使って、その子供たちに特待制度をつくって、寮費免除を県に要望してもらえないでしょうか。

それと、市長にまたお伺いします。

出張とかによく行かれると思いますが、対馬会とか、就職の求人を対馬の子供たちのためにしていただけないでしょうか。

そしてまた、教育長にお伺いします。

今、ゆとり教育ということで、子供主導の指導になっていると思います。体罰が禁止となり、思うような先生の指導ができていないのではないのでしょうか。

教育長がされていたときと今の指導では、どんな違いがあるのかお聞かせください。よろしく申し上げます。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 神宮議員の質問にお答えいたします。

初めに、新型コロナウイルス感染症が収束した後の観光客数はどのくらいを予想しているのかという質問でございますけども、旅行意識が一変した現在、観光客数を予想することが非常に困難であることは初めに御承知いただきたいと思っております。

しかしながら、少しずつ増えてきていることは、肌感覚として感じていらっしゃると思います。

また、昨年末から数回にわたりテレビ番組で取り上げられ、その効果により、これまであまり需要のなかったトレッキング客が増えてきております。

また、来年2月からはGo Toトラベルも開始されるというふうに報道されており、キャンペーン中は一定数の観光客は見込めるものと思っております。加えまして、チャーター便やスポーツ、文化、合宿誘致の取組やゴースト・オブ・ツシマ効果も期待されるところであります。よって、国内客については、コロナ前の観光客数、年間約14万人ほどに加え、少しずつ増えてくるのではないかと推測をしております。

一方、韓国人観光客についてでございますが、国際航路が再開すれば、一定の戻りはあるものと期待しております。

しかしながら、政府間の冷え込み、日本不買運動の定着化に加え、航路運航会社の減少、釜山市の旅行会社の減少でプラスの要素も少なくなっております。よって、韓国人観光客数を予想することはできませんが、対馬釜山事務所を中心に誘客活動を強力に実施してまいりたいと考えております。

次に、トイレの整備についてでございますが、これまでも議員の皆様からたくさんの御指摘をいただいており、まずは必要な場所に設置すること、また、長崎県対馬振興局と一緒に和式の洋式化を進めてきたところであります。

御指摘のとおり、姫神山砲台跡にはトイレがありません。まずは訪問者数の調査を行いまして、御提案のゲートボール場のトイレを改修するのか、山頂近くに別に設置するのか、地元の方とも相談をしながら検討してまいりたいと思っておりますし、老朽化したトイレにつきましては、この上部の仕切りの設置を含めて、これからは清潔感があって照明の明るい美化改修に努めてまいり所存であります。

次に、韓国人観光客のマナーについてでございますが、釣り、ごみのポイ捨て、飲食店への持ち込み、道路交通、神社参拝マナーなど、いろいろなマナー問題があります。このことにつきましても、対馬釜山事務所を通じて各旅行者に注意喚起の文書を送付し、少しずつ改善されていたものの、コロナ後はまた同じ問題が生じることも予想されます。国際線内での注意喚起ビデオの放映などに加え、添乗員への対馬ルールの周知徹底など、継続して取組を強化してまいりたいと考えております。

次に、島外流出を阻止できないのか、子供の指導についての御質問でありました。

島内の中学校を卒業して、卒業生の3割が島外の高校へ進学していることは承知しております。少子化が進む本市におきまして、学校教育の再編成による小中学校の統廃合が行われ、全島の中

学校を卒業する生徒数も減少している中、対馬高等学校への入学者数も減少傾向にあることは承知しており、年々減少傾向にあった入学者数は、5年前と比較いたしますと、本年度は131人の入学者数で35%減少している状況であります。

生徒を確保するため、対馬高校では県の施策で離島留学制度を導入して、国際文化交流科を新設し、島外からも学生を募集しておりますけれども、これに加えて、対馬高校のコース新設につきましては、教員の人員確保、学校の設備整備等が必要となり、また、寮費の免除につきましては、市が独自に取り組を進められるものではなく、長崎県と協議を行い、協力して取り組まなければならない案件であります。

公務員専門科の新設についてでございますが、対馬高校では、この、公務員を志望する学生に対しまして、希望者が少ない状況ではあります、夏期公務員講座や学習会を実施して、公務員志望学生に対する受験対策の充実を図られております。

本市におきましても、人口減少対策に特化した事業の取組としまして、地元3高校のスポーツ及び文化指導者招聘事業に取り組んでおり、中学を卒業後、地元の高校へ進学を導くため、地元3高校と協力して、高校の魅力を上げる取組を進めております。

その中で、当初、対馬高校では野球部を強化対象の一つの候補として協議を進めてまいりましたが、対外試合などによる遠征費用の負担など、保護者や高校にも一定の負担が発生することから、白紙に戻しております。陸上の長距離については、自分の可能性を試すため、中学を卒業して島外の強豪校に進学している生徒も多数見受けられます。その中には、県内でもトップクラスの強い選手もいることから、総合的に判断した結果、陸上の駅伝を強化することで進めているところであります。

また、人口社会減対策として、対馬市と対馬振興局で人口社会対策推進プロジェクトチームを立ち上げ、各種施策を推進しているところであり、この取組の中で、中学生に対して早期から島内の産業や企業を知ってもらうため、島内企業の説明会や職業講話を行い、高校生に対しても島内の合同企業説明会を行っております。

島内事業者に対しましては、高校新卒者の採用活動を促進するため、島内就職促進に向けた取組をともに行っております。

このようなことでありまして、先ほど、私のほうに、東京等を出張の折、東京対馬会等に就職あっせんのほうをできないかというような質問でございましたけれども、高校生就職活動関係に関しましては、これは各高校のほうの業務であろうかと思っております、私のほうは、この、高校を卒業した子供たちをいかにこの対馬の島内に残させるか、このことに向けまして、先ほど申しましたように、島内企業の説明会や職業の講話等を実施してきていることでもありますので、御理解を願いたいと思います。

本市といたしましても、今後の取組といたしましては、対馬高等学校の魅力化及び島内3高校の入学人数を増やす取組を推進し、3高校の存続に向け支援を行い、長崎県と協力しながら取り組んでまいりたいというふうに考えております。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 神宮議員の御質問にお答えいたします。

中学卒業後、3割が対馬を離れていることについて、止める手立ては考えていないのかとのことですが、対馬市教育努力目標の1番目に、「郷土を知り、愛し、未来につなぐ学びの充実」を掲げ、その実現に向けて、各教科、領域等などで、対馬の歴史、自然、文化、環境問題などを題材にしたふるさと学習を進めております。

これは、将来を生きていくための軸を育てるとともに、ふるさと対馬のよりよい未来を創造する資質や能力を持った児童生徒の育成を目指しております。

このことは、現在の対馬を知り、愛するのみにとどまらず、高校卒業後、または大学卒業、就職後も含めて、後々、ふるさと対馬のために何らかの貢献をしたいと願う児童生徒を育むということも含んでおり、今後も充実を図っていきます。

また、義務教育と高校教育間の情報共有と連携を図るため、対馬市中高連携協議会を設置しております。各高校部会や進路指導、教科指導、喫緊の課題に対応する特別部会等の活動を通して、全市的な教育課題等を共有し、対馬3高校の魅力を中学校に伝えていくための連携に取り組んでおります。

子供たちの進路につきましては、将来を見据えて本人や保護者が決定をしていくこととなります。各学校において、必要な情報を提供し、相談を重ねながら、本人や保護者にとって適切な進路選択が可能となるよう力添えをしておりますが、教育委員会が子供たちの進路に直接関与することはできないことを御理解願います。

次に、生徒指導の件についてでございますが、全ての学校において生徒指導の意義を踏まえ、一人一人の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動が行われております。優しさと厳しさの両面を大切にしながら、各学校で日々指導に当たっております。

もちろん、昔のような体罰や人格を傷つけるような厳しい言葉による指導は許されておられません。学校は、個性が違う子供たちが集団生活を営んでおりますので、その中で様々なトラブルや問題が発生することもあります。しかし、人と人との関係の中でこれらの問題に向き合い、解決の方法を学んでいくことも生きていくために大切な教育です。

各学校においては、必要に応じて市教委との相談を重ねながら、子供たちのよりよい指導に当

たっているところです。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） どうもありがとうございます。

日本人の観光客、これからもかなり来るような感じで、トイレが、万関が、本当、木製で古く感じられ、夜には怖くて入れない人もいるんじゃないかと思って質問させていただきました。

今日見たら、和多都美神社のトイレがきれいになって、ああいうのが対馬に合ったトイレやないかと思うんで、これからああいうのをどんどん造っていつてもらいたいかなと思います。

そして、鮎もどしとか、それと上見坂が、もう、自分が小さい頃からあのトイレのままなんで、あそこは小学生、中学生、高校生、いまだに遠足とか行っていますんで、どうかあの辺ももうちょっときれいなのにしていただけたらなと思っております。

予算もなかなか厳しいと思いますが、どうか、1年に1つずつぐらい替えていただけないかなと思っております。どうかよろしくをお願いします。

そして、韓国人観光客を以前のように補助を出してたくさん迎える予定はあるのでしょうか。市長、よろしくをお願いします。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、村井英哉君。

○観光交流商工部長（村井 英哉君） お答えいたします。

議員承知のように、昨日の報道であってございました新型コロナ7,000人越えということ、韓国のほうで過去最高ということでもあります。併せてオミクロン株、こちらのほうもこれから増えていく可能性もあるということで、現状としましては、世界がそういう動きの中で、まず静観した中で、今後、その韓国人観光客の取り込みについては進めていかなければならないと思っておりますけれども、今、釜山事務所のほうを通じて、もちろん現地のほうでもオンラインとかそういった形が多いんですけれども、例えば、旅行会社を招いたそういった会議とかがあっております。そういった折に釜山事務所の職員が出向きまして、そこに参加されている旅行会社の方とか、そういった方と接触を持って意見交換されたりしたりしております。

そういう報告の中では、まだまだ、対馬に対する食とかトレッキング、それから釣り、温泉と、そういったものに対する興味がまだまだ深くあるということですので、そういったいろんな状況が整い出して、航路が1社でもまず通うようになってくれる状況が見えてくれば、そこはまた積極的に、様々な形で、セールスといいますか、そういった誘致に向けた取組をしていこうというふうに思っておりますので、現状としての韓国人の入り込みについてはちょっと厳しいところかなと思います。

最終的にはといいますか、よければ、今後、1日300人ずつとかいうような形で、年間

10万人と、12万人というような戻りになってくると島内の経済も潤っていくのかなというように、大まかな見方はしております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 3番、神宮保夫君。

○議員（3番 神宮 保夫君） だんだん入ってくるように、韓国の方もなりますので、これからは、韓国人観光客が、数が少なくなったとしても、たくさんお金を落としてくれる中間層から上の方をターゲットにして、対馬の経済のためになるような政策をしてもらいたいと思います。

そして、飲食店等で、現場では、観光客がたくさん来るのはありがたいが、従業員の人が足りないということが意見があつてますので、どうかよろしくお願いします。

そして、次、公務員科をどうかということで、先日、諫早の鎮西高校に行ってきました。そこに公務員科があり、対馬から2年連続で野球部に入り、公務員科で卒業して、長崎県庁に受かり、対馬に帰ってきております。対馬の高校に公務員科をつくれば、中学校卒業生、卒業後の3割が島外に出ていきますので、1クラス分ぐらいい残るようになるのではないのでしょうか。今の授業では2科目ほど足りないということなので、講師を別に雇い、補習を受ければよいそうなので、公務員科の設置を、できれば島内3校にしてみてもはどうでしょうか。

そして、寮費を免除というのが、前回、対馬高校野球部がちょっと力を入れていただけということで聞いたので、よい指導者を探していると聞きましたので、それが決まりましたら、その指導者を頼りに、生徒が福岡や他県からも来る可能性があると思いますので、今のうちから私立は特待生制度をしていますので、その辺りを導入してもらい、寮費免除とか取り入れてもらえないのでしょうか。そうすれば、今の子供たちも島内に残るようになるのではないのでしょうか。ぜひ県に話を持って行ってください。よろしくお願いします。

そして、就職活動なんですけど、市長は無理だと思いますが、ちょっとした冗談交じりでもいいので。以前は、対馬高校野球部に三菱重工長崎とか、うち、伊藤園とか求人があったので、入っていたんで、まあ、そういうちょっとした話のついでぐらいで、そういうので言ってもらえないのでしょうか。どうかよろしくお願いします。

生徒指導なんですけど、いろいろ問題が出始めていると聞きました。先生が厳しく指導できないと、これから授業ができないクラス、学校が増えてくると思いますので、そうならないためにも、勉強する意味を子供たちに理解させて指導していただき、一部の意識の低い子供たちのために授業ができなくなったり、勉強したい子供たちの悪影響にならないように、しっかりと勉強中心で学校に運営をしてもらいたいと思います。よろしくお願いします。

では、一般質問を終わらせていただきます。

○議長（初村 久藏君） これで、神宮保夫君の質問は終わりました。